

大学への数学

2025年5月号



● 表紙の動物紹介

キバタン (オウム科)

キバタンは、オーストラリアに多く生息し、現地では日本のスズメやカラスのように身近な鳥です。高い知能と社会性を持っており、人間とコミュニケーションを取れるほどといわれています。

表紙デザイン 美浪可奈

表紙イラスト 大島 梢

特集 2025年大学入試問題

慶應義塾大学・医学部	48
北海道大学・理系 (前期)	54
東北大学・理系 (前期)	56
一橋大学 (前期)	61
東京科学大学・医歯学系 (旧・東京医科歯科大学)	65
新潟大学・理系	69
神戸大学・理系 (前期)	73
広島大学・理系 (前期)	76

解答 雲幸一郎, 森 茂樹, 安田 亨, 米村明芳, 編集部

特集 春に解きたい微積分 (数Ⅱ)

講義／数Ⅱ	数Ⅱの面積	雲幸一郎	2 b
要点の整理／数Ⅱ	微積分 (数Ⅱ) の確認	飯島康之, 横戸宏紀	6 b
ベーシック演習	微積分の基礎を積み上げる	増田和貴	8 a
スタンダード演習	微積分でロケットスタート!	山崎海斗	12 a
日日の演習	限りなく 無限を学ぶ 微積分	飯島康之, 横戸宏紀	18 b
要点の整理／数Ⅰ	関数の基礎	安田 亨	28 b
演習／数Ⅰ	心に紅き二次関数	安田 亨	30 b
空間図形道場	四面体の体積	山崎海斗	36 b
ミニ講座	別角度で捉える角の二等分線	増田和貴	40 b
受験数学探検	極限の順序	横戸宏紀	42 c
巻頭言	未来のフィールズ賞受賞者たちへ	吉永良正	1 e
インタビュー・私の軌跡	渡辺悠樹 難題に挑む物理学者 (後編)	塩繁 学	44 e
読者と作るページ	編集部のノートから		80
	合格しました		86 e
	読者の接点		95 e
《宿題》	今月の問題と3月号のレポート		84 d
学力コンテスト	今月の問題		89 c
	応募のしかた		87

本誌で使用する記号

難易度と目標解答時間について、入試問題の難易度を10段階に分けたとして、

A は基本 (5 以下), B は標準 (6, 7), C は発展 (8, 9), D は難問 (10).

また、目標解答時間は、無印は5分もかからず、○は5分、*は1つ10分、♯は無制限。

●解; 解答, ●別解; 別解について、

☆; 巧妙ではあるが、無理のない、あるいは、ぜひ身につけてほしい解法

★; 相当地に巧妙で、思い付かなくても心配いらない解法

⇒注; 初学者のためのもの ⇨注; すべての人のためのもの ➡注; 意欲的な人のためのもの

■はコメントを意味するマークで、■; すべての人のためのもの ■; 意欲的な人のためのもの

上のページ数の横にある記号は、

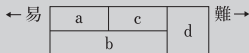
a: 足固めをしたい人向け

b: すべての受験生向け

c: 基本は十分に身につけている人向け

d: 意欲的な人向け (かなり難しい)

e: すべての人向けの読み物風記事



を原則としますが、あくまでも1つの目安ですから、例えば演習記事については各問毎の難易度の表も参考にして下さい。